



かえだけいこく 加江田溪谷 みどころマップ

丸野駐車場

からかさ淵 ぶち

名前の由来として「淵の傍らにある岩山の頂部を遠方から眺めると、編み笠が淵を覆っているように見える」という説と「淵の傍らから飛び降りたが、手に持っていたカラカサが途中で開いて命が助かった」という説があります。



0.7km

相対する淵の真ん中辺りの岩の形が狭くくびれていて「ひょうたん」のように見えることからこの名前がついたようです。



1.1km

この淵には巨大な蟹が生息していたという伝説がある一方、数多く生息していた「ヤマタロガニ」を一人占めしようと、誰かが化け蟹を吹聴したのであるという現実的な説もあります。



1.3km

硫黄谷 いおうだに

硫黄分を含んだ冷泉が湧出しており「ユノタニ」とも呼ばれます。昭和54年の第34回国民体育大会秋期大会の際に昭和天皇が宮崎自然休養林を御観賞され、この時お詠みになられた御歌が記念碑として残されています。「蘚(こけ)むせる 岩の谷間においしげる あまたのしだは見つたのしも」



1.6km

伐採した木材を下流に運び出すため、溪谷には随所に貯水する堰止めが作られています。この地点は当時の面影を感じさせてくれます。



2.0km

甘茶の泉 あまちゃ いずみ

この岩清水の湧き出る傍らに、1本のバイカアマチャの木があることから、この名がついたと言われています。



1.8km

しばせき

溪谷で最も幅の広い場所であり、休憩所が設置されています。どうぞしばしご休憩を。



2.4km

静の谷 しずか たに

この谷から受けるひんやりとした、物静かな雰囲気からこう呼ばれているようです。



2.6km

広河原 ひろがわら

トイレ

※説明の下に書いてある距離は、丸野駐車場からの距離の目安です。

お問合せ先

宮崎自然休養林保護管理協議会
(宮崎市農政部森林水産課内)

TEL. 0985-21-1919

平成22年3月作成

出典 池内捨市著 加江田溪谷と青島・内海海岸

昼間でも薄暗くひんやりとする岩の苔むした奥深い谷です。「オカメ」という村一番の長者の家にいた美しい娘に化身した山姥(やまんば)の昔話が、この谷にまつわる話として今に語り継がれています。

2.9km



火を噴く大蛇が棲んでいたという言い伝えが残っています。

3.3km



以前は加江田キャンプ場としてにぎわっていた場所です。現在は休憩所にもなっています。

3.2km

あゆかえぶち
鮎返り淵

付近一帯の転石群は、素晴らしい溪谷の景観を演出しており、ここが自然の堰となって鮎が遡れなく返ってしまうことからついた呼称と言われています。

8.1km



加江田溪谷最終の淵になっており「通れない」淵という意味も持っているようです。100mほど上流側には「となせの滝」があり、雨の後は、雄大な自然を感じさせてくれます。

8.5km



だに
おかめが谷

たもくてきひろば
多目的広場

第一家一郷橋

第二家一郷橋

丸太橋

たか橋

あかご淵

にんぎょうぶち
人形淵

名前の由来はいくつかの説があるようです。第二次世界大戦末期には、旧日本兵が食糧不足を補うため、ダイナマイトを使って溪流魚の「イダ」を取っていたことから、「ダイナマイト淵」とも呼ばれます。

5.0km



生活の厳しさからこの淵で赤ん坊が犠牲にされたという悲しい言い伝えがあり、この淵から吹き流れてくる風の音は、赤ん坊の泣く声に似ていると言われます。

5.1km

樺山キャンプ場(9.4km)

トイレ

※説明の下に書いてある距離は、丸野駐車場からの距離の目安です。